

KD0580 2023年10月

慶應義塾大学出版会 2023年度末 キャンペーン



メディア論

セールスID

KS00001200

メディア論やメディアをめぐる周辺環境に関心を持つ読者におすすめのセット。メディアの役割、影響、倫理、歴史、そして未来について解き明かす9冊を集めました。

テーマはメディア理論、コミュニケーション、ジャーナリズム、メディア史、そして公共放送。メディアの重要性を理解し、その影響を詳細に分析するための視座を提供します。

メディア論を学ぶ学生はもちろん、新聞・放送業界をめざす学生に読んでいただきたい本を揃えました。

年度末限定!

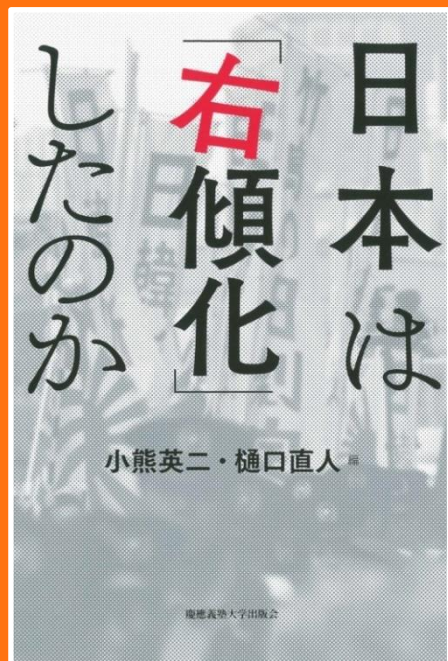
(2023年11月1日～2024年3月31日)

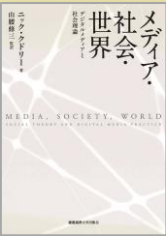
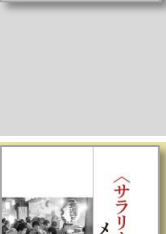
① セット購入の場合

- ・ **10% OFF** の特価にて提供します。
※¥73,260→¥65,934 (同時アクセス3、本体価)
- ・ ご購入済のタイトルがセットに含まれる場合、アクセス数に+3

② 単品購入の場合

裏面タイトルリストのタイトルを単品ご購入の場合、
同時アクセス1の価格で同時アクセス数3のライセンスを
恒久的に提供します。



NO	書影	著者	Product ID	出版社名	底本刊行 年月	フォーマット	同時アクセス1 本体価	同時アクセス2 本体価	同時アクセス3 本体価
		書名	ISBN	内容紹介					
1		ニック・クドリー【著】/山腰修三【監訳】	KP00025632	慶應義塾大学出版会	201811	PDF	-	-	¥14,190
		メディア・社会・世界 デジタルメディアと社会理論	9784766425444	メディアが社会や人々の日常に与える影響とはどのようなものか？現代社会はメディアを通じてどのように秩序化されているのか？Google、Twitter、YouTubeなどメディアのデジタル化が進むなかで、メディアと日常生活、権力、社会秩序、民主主義の関係を問い直す。					
2		山腰修三【編著】	KP00016123	慶應義塾大学出版会	201711	PDF	-	-	¥7,700
		入門メディア・コミュニケーション	9784766424447	法学・政治学・社会学・社会心理学の学問領域を横断したアプローチで、インターネットを含むメディアのしくみと問題点をわかりやすく解説、大きく社会を揺るがせた主要ニュースの背景もとりあげ、メディアの問題点に迫る。ニュースをキーワードにしたメディア・コミュニケーションの捉え方、デジタル化による変化、さらに社会とメディアを読み解く方法や、グローバル社会と国際関係を捉える視点などを提示する入門テキスト。					
3		大石裕	KP00016065	慶應義塾大学出版会	201701	PDF	-	-	¥5,610
		批判する／批判されるジャーナリズム	9784766423976	言論の自由の核心は、「批判する自由」にある！メディア政治がポピュリズムの流れを加速する民主主義社会において、ジャーナリズムはその渦から脱し、歴史的な文脈を適切に意識しながら、鋭い問題提起を行い続けることができるのだろうか？日本のジャーナリズムの根幹が揺るぎつつある現在、自由で多様な言論の場としてのメディアとこれからのジャーナリズムのあるべき姿を探る。					
4		大尾侑子	KP00074698	慶應義塾大学出版会	202203	EPUBリフロー	-	-	¥13,860
		地下出版のメディア史 エロ・グロ、珍書屋、教養主義	9784766428032	近代日本の誇る教養主義の「裏通り」を一望する！軟派出版の世界で、道楽知識人たちは国家権力と戯れ、一大文化空間を築いた——「低俗」出版文化の歴史と「書物」「エロ」への欲望を可視化する意欲作近代日本の出版文化は、岩波書店と講談社に代表される「知識人／大衆」という対比構造によって、しばしば教養主義の観点から論じられてきた。しかし、読書が大衆化した時代に、この図式に収まりきらない非正統的で「知的」な地下出版空間が存在した。本書では、これまで閑却されてきた非公刊の軟派出版（性風俗、猟奇、犯罪を取り扱った刊行物）とその版元に注目し、教養主義の言説空間との関係性から捉え返すことで、地下出版界をメディア史的に体系化する。					
5		谷原史	KP00076810	慶應義塾大学出版会	202208	EPUBリフロー	-	-	¥7,480
		〈サラリーマン〉のメディア史	9784766428322	大衆化と差異化…。「普通の人々」の昭和・平成を描く。「サラリーマン」という戦後の成人男性の典型的な表象が揺らぎつつある昨今。昭和・平成の映画、雑誌、ドラマ、漫画など…サラリーマンがサラリーマンをまなざすメディアの分析を通じ、大衆化と差異化という視点から、日本社会を支える〈普通の人々〉の通史を描く。					
6		橋宗吾	KP00016030	慶應義塾大学出版会	201607	PDF	-	-	¥5,610
		学術書の編集者	9784766423525	名古屋大学出版会の編集長として、数々の記念碑的な企画を世に送り出し、日本の学術書出版を牽引する著者が、編集・本造りの実際について縦横に語る、現役編集者必携、志望者必読のしなやかな鋼の如き編集論。					
7		広田すみれ	KP00030726	慶應義塾大学出版会	201910	PDF	-	-	¥4,950
		5人目の旅人たち 「水曜どうでしょう」と藩士コミュニティの研究	9784766426243	「水曜どうでしょう」は、いかにして多くのファン（＝藩士）にとって“人生になくてはならないコンテンツ”にまでなったのか？自らもファンである社会心理学者が全国のファン19名へのインタビューやディレクター陣・ファンたちとの交流をもとに、その要因がディレクター陣の仕掛けた戦略とファンコミュニティとの奇跡のコラボレーションであったことを明らかにする。					
8		小熊英二/樋口直人【編】	KP00045871	慶應義塾大学出版会	202010	PDF	-	-	¥6,160
		日本は「右傾化」したのか	9784766426946	日本は「右傾化」しているのか。概していえば、社会全体の有権者レベルの調査では、顕著な「右傾化」はみられない。しかし、政党や宗教団体など特定の対象のレベル、あるいは報道のレベルでは「右傾化」が指摘されることが多い。政治家などの右派的言動も目立つ。本書は、このような一見すると矛盾した現状について、学際的な知見を集め、①意識、②メディア・組織・思想、③政治という三つの視角から、「右傾化」の実態を徹底検証する。					
9		大石裕/山腰修三/中村美子/田中孝宜【編著】	KP00016053	慶應義塾大学出版会	201610	PDF	-	-	¥7,700
		メディアの公共性 転換期における公共放送	9784766423778	メディア環境・政治・社会・経済構造の急激な変化の中で、問い直される「メディアの公共性」。世界的に関心の高まる公共放送の国際的な動向と今後の方向性を解説する入門書。放送業界をめざす学生、メディア関係者は、必携の一冊。					

慶應義塾大学出版会 2023年度末キャンペーンは

KS00001195 ジェンダー・フェミニズム 8点 65,142円

KS00001196 特別支援教育 12点 68,211円

KS00001197 学習実用書 19点 87,476円

全6セット ございます。（価格は本体価格です）

KS00001198 東アジア関連書 8点 97,416円

KS00001199 国際政治とインテリジェンス 9点 75,200円

KS00001200 メディア論 9点 65,934円



全セットのタイトル一覧はこちら⇒https://kinoden.kinokuniya.co.jp/product/img/KD0575_list.xlsx